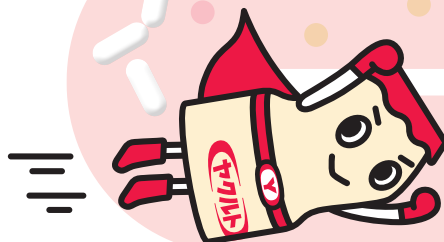


人も地球も健康に

Yakult



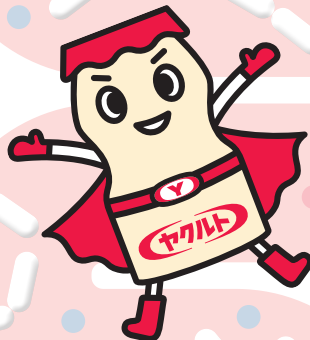
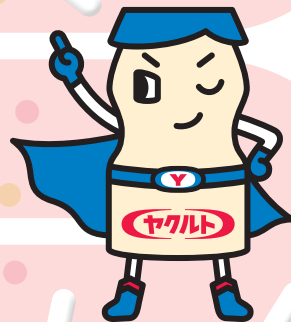
株式会社ヤクルト本社

第66期 中間期 株主通信

平成29年4月1日 ~ 平成29年9月30日

掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 第2四半期連結財務諸表等
- 09 特集 毎日のヤクルトで腸をすこやかに。
- 11 会社情報
- 13 コラム 総合科学雑誌「ネイチャー」との共同企画により、「ネイチャーカフェ」を開催
- 14 トピックス ゼッコー腸！ヤクルトマン誕生



ごあいさつ



代表取締役社長

根岸考成

平素は格別のご高配を賜り、あつく御礼申し上げます。

ここに、平成29年4月1日から平成29年9月30日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

平成29年12月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、
世界の人々の健康で楽しい
生活づくりに貢献します。

当第2四半期について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性の高まりなどを受け、先行きは不透明な状況が続くものの、企業収益が改善し個人消費も緩やかに持ち直しているなど、景気は緩やかな回復基調が続いています。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、国際事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結

連結業績 ハイライト

●売上高

(億円)

4,500

3,000

1,500

0

62期

2013年度

1,726

3,503

63期

2014年度

1,804

3,679

64期

2015年度

1,942

3,904

65期

2016年度

1,889

66期

第2四半期

2017年度

■第2四半期 ■通期

4,500

3,000

1,500

0

62期

2013年度

1,726

3,503

63期

2014年度

1,804

3,679

64期

2015年度

1,942

3,904

65期

2016年度

1,889

66期

第2四半期

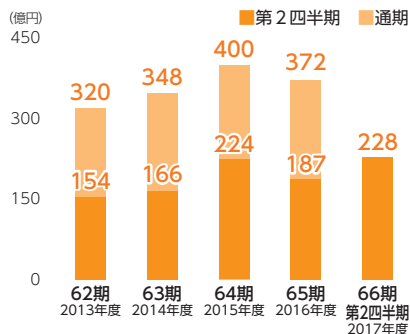
2017年度

売上高は1,977億円(前年同期比4.6%増)となりました。利益面においては、営業利益は228億円(前年同期比21.7%増)、経常利益は268億円(前年同期

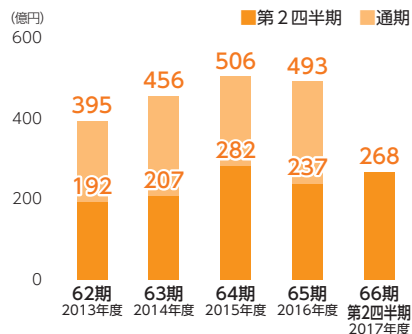
比13.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は178億円(前年同期比19.5%増)となりました。

	当第2四半期連結累計期間	通期の見通し
売上高	1,977 億円 (前年同期比 4.6% 増)	4,025 億円 (前期比 6.4% 増)
営業利益	228 億円 (前年同期比 21.7% 増)	415 億円 (前期比 11.3% 増)
経常利益	268 億円 (前年同期比 13.0% 増)	510 億円 (前期比 3.3% 増)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	178 億円 (前年同期比 19.5% 増)	315 億円 (前期比 4.5% 増)

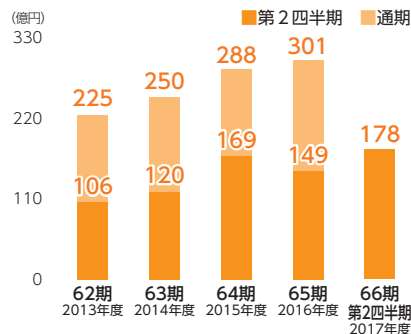
● 営業利益



● 経常利益



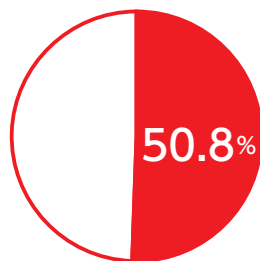
● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門(日本)



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

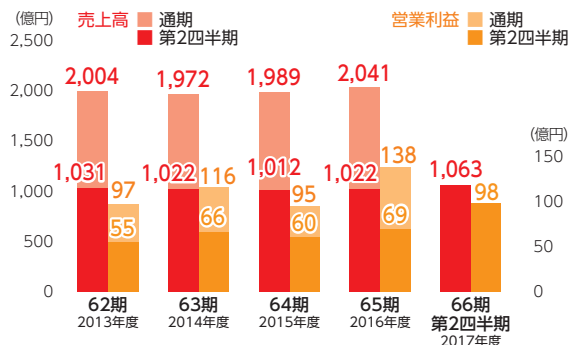
1,063 億円

(前年同期比：4.0% ▲)

営業利益

98 億円

(前年同期比：43.4% ▲)



日本国内における乳製品については、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」などの科学性を広く訴求するため、エビデンスを活用し、地域に根差した「価値普及」活動を積極的に展開しました。

宅配チャンネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」について、既存のお客さまへの継続飲用の促進および新規のお客さまづくりに努めました。また、宅配組織の強化を図るため、ヤクルトレディの働く環境整備をすすめるとともに、採用活動を継続して展開しました。

店頭チャンネルにおいては、引き続き、プロモーションスタッフを活用したお客さまへの「価値普及」活動を積極的に展開しました。また、7月から8月まで乳製品乳酸菌飲料「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーーフ」10本マルチパック(東京ヤクルトスワローズ特別パッケージ)を対象とした「2017プロ野球

援フェア)を実施し、売り上げの増大を図りました。

商品別では、のむヨーグルト「ジョア」について、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社とのライセンス契約に基づき、ディズニーキャラクターを用いたパッケージを引き続き展開しました。さらに、7月には期間限定アイテムとして「ジョア 旬のピーチ」を導入し、ブランドの活性化を図りました。

そのほか、営業現場を強力にバックアップするため、当社の強みである「ヤクルトブランド」および「研究開発・技術力」を訴求するテレビCMを積極的に展開しました。

一方、ジュース・清涼飲料については、9月に血糖値対策飲料の「ヤクルト蕃爽麗茶」のデザインリニューアルをしました。また、新たに粉末タイプの「手軽に蕃爽麗茶」を発売し、ブランドの活性化を図りました。

2017
NEWS
&
TOPICS

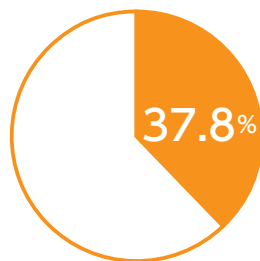
期間限定アイテム「ジョア まろやかハニー」を発売

「ジョア」シリーズの期間限定アイテム「ジョア まろやかハニー」を、2017年10月30日から2018年1月中旬まで全国で販売しています。生クリームのまろやかな口当たりとはちみつの優しい甘味がマッチした、「癒し」が感じられる風味です。パッケージにはディズニーキャラクター「くまのプーさん」を採用。「癒し」をテーマに「三つ星Factory」がプロデュースした期間限定の「ジョア」です。



©Disney. Based on the "Winnie the Pooh" works by A.A. Milne and E.H. Shepard.

飲料および食品製造販売事業部門(海外)



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

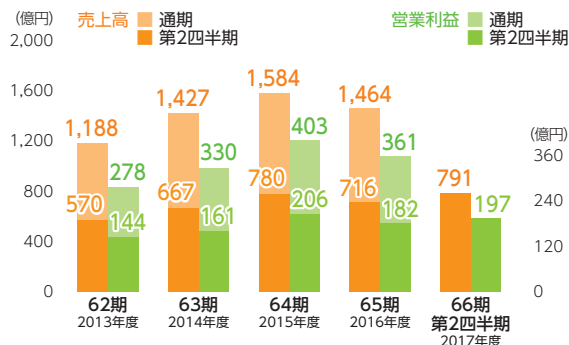
791 億円

(前年同期比: 10.5% ▲)

営業利益

197 億円

(前年同期比: 8.4% ▲)

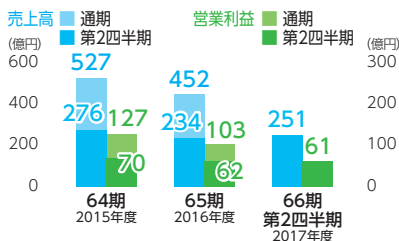


米州地域

売上高 251億円 (前年同期比: 7.5% ▲)

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

同地域では、宅配・店頭の高チャネルにおける販売体制強化を図り、売り上げの増大に努めました。



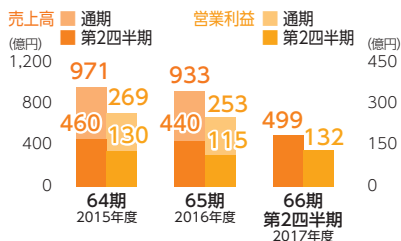
アジア・オセアニア地域

売上高 499億円 (前年同期比: 13.3% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アラブ首長国連邦(UAE)などでは「ヤクルト」を輸入販売しています。

中国においては、広東省清遠市および惠州市に販売拠点を設立し、さらなる販売体制の強化を図りました。これにより、中国全体での販売拠点は41か所となりました。

ミャンマーにおいては、平成30年の「ヤクルト」の製造、販売開始に向けて準備を進めています。

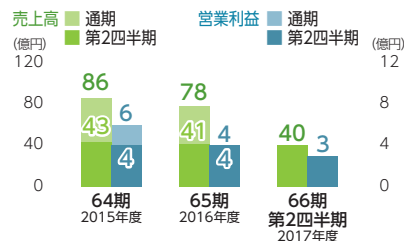


ヨーロッパ地域

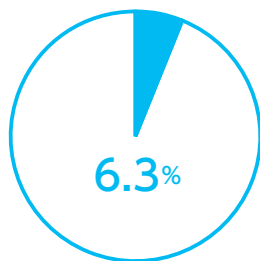
売上高 40億円 (前年同期比: 2.4% ▼)

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

ヨーロッパにおいては、プロバイオティクスを普及するための活動に対する厳しい規制の中で、健康強調表示(ヘルスクレーム)の承認に向け、各種の取り組みを行っています。また、地域経済が安定せず、販売環境が厳しい状況にある中で、各国事業所による市場特性に合った事業活動の展開により、持続的成長を目指しました。



医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

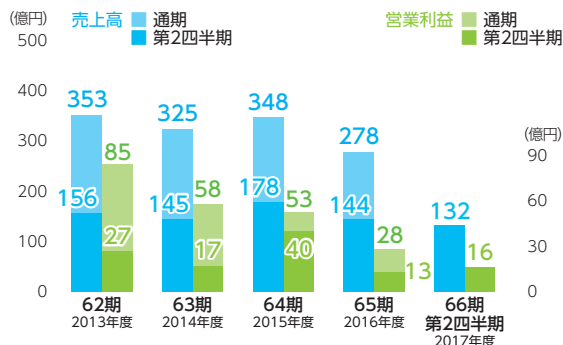
132 億円

(前年同期比：8.4% ↓)

営業利益

16 億円

(前年同期比：29.2% ↑)



医薬品については、がんおよびその周辺領域に特化した当社製品の啓発活動や適正使用を推奨する活動を推進しました。

当社の主力製品である抗悪性腫瘍剤「エルプラット」については、医療関係者を対象とした講演会などを積極的に開催し、シェアの維持・拡大に努めました。「エルプラット」の後発医薬品が上市されて以降、後発医薬品へ切り替える医療機関が増加傾向にあるものの、先発医薬品を開発した当社の強みである情報提供力やこれまで築き上げてきた医療関係者との信頼関係により、引き続き「エルプラット」を選択してもらうよう活動を展開しました。また、サノフィ社と共同プロモーション契約を締結した抗悪性腫瘍剤「ザルトラップ®」については、大腸がん領域におけ

る早期浸透を図るため、積極的な情報提供を実施し、採用に向けた活動を推進しました。そのほか、代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタピンヤクルト」、骨吸収抑制剤「ゾレドロン酸ヤクルト」およびタキソイド系抗悪性腫瘍剤「ドセタキセルヤクルト」などの販路拡大に努め、売り上げの増大を図りました。

一方、研究開発においては、4SC AG社から導入しているHDAC阻害剤「レスミノスタット」および日産化学工業株式会社と共同開発を進めている血小板増加薬「YHI-1501」などの開発パイプラインの開発を推進しました。これらにより、今後、がんおよびその周辺領域において、さらなる強固な地位の確立を目指します。

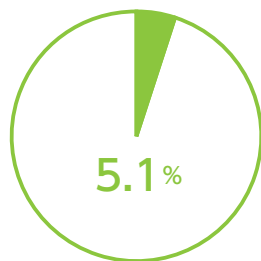
2017
NEWS
&
TOPICS

「ヤクルトのはっ酵豆乳」を発売

「乳酸菌 シロタ株」で豆乳を発酵させたのはっ酵豆乳飲料「ヤクルトのはっ酵豆乳」を2017年10月2日から発売しました。「ヤクルトのはっ酵豆乳」1本で「乳酸菌 シロタ株」と「イソフラボン」の両方が摂取できます。また「豆乳」を「乳酸菌 シロタ株」で発酵させることにより豆乳と比べ「イソフラボン」が吸収しやすくなっています。そして、豆乳の風味が苦手な方でも飲みやすいよう豆乳独特のにおいを軽減したヨーグルト風味となっています。



その他事業部門



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

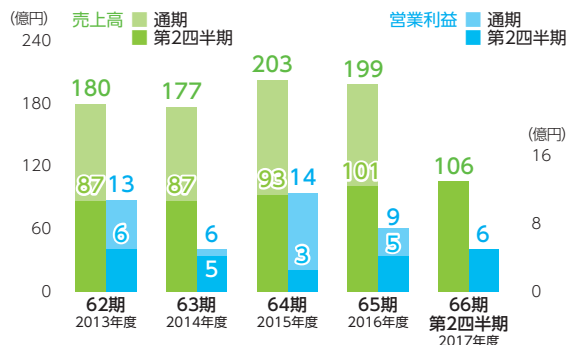
106 億円

(前年同期比： 5.0% ↑)

営業利益

6 億円

(前年同期比： 15.2% ↑)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分「S.E.(シロタエッセンス)」の「価値普及」に重点をおき、基礎化粧品の主カブランドである「パラビオ」「リベシ」および「リベシホワイト」を中心としたカウンセリング型訪問販売活動を継続して展開しました。

具体的には、「リベシホワイト」および「ラクトデュウS.E.ローション」を第2四半期の重点商品と位置づけ、「美白」および「保湿」をテーマとした販売活動を行うことで、新規のお客さまづく

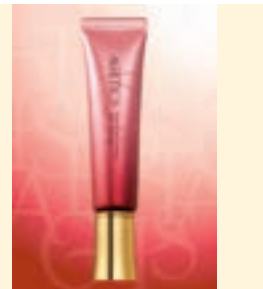
りと既存のお客さまの継続愛用を促進し、売り上げの増大に努めました。

一方、プロ野球興行については、神宮球場において各種イベントを通じたファンサービスやさまざまな情報発信を行い、入場者数の増大と売上増加に努めました。

「エジティックス モイストリペア エッセンス」をリニューアル発売

乾燥による小ジワを目立たなくする*クリーム状美容液「エジティックス モイストリペア エッセンス」を、2017年11月9日にリニューアル発売しました。使用感をなめらかにし、お顔の全てのシワにアプローチできます。また、当社オリジナル保湿成分を配合し、すこやかなお肌に導きます。そして、ローズピンクとゴールドを基本としたデザインが高級感を演出します。

※効能評価試験済み



Consolidated Financial Statements

第2四半期連結貸借対照表

単位：億円

科目	第65期連結会計年度 平成29年3月31日現在	第66期第2四半期 平成29年9月30日現在
資産の部		
流動資産	2,287	2,467
固定資産	3,569	3,659
有形固定資産	1,982	1,948
無形固定資産	54	55
投資その他の資産	1,531	1,654
資産合計	5,857	6,126
負債の部		
流動負債	1,141	1,177
固定負債	947	941
負債合計	2,088	2,119
純資産の部		
株主資本	3,463	3,615
資本金	311	311
資本剰余金	415	415
利益剰余金	3,141	3,293
自己株式	△ 404	△ 404
その他の包括利益累計額	△ 28	40
その他有価証券評価差額金	261	327
為替換算調整勘定	△ 265	△ 266
退職給付に係る調整累計額	△ 23	△ 19
非支配株主持分	333	351
純資産合計	3,768	4,007
負債・純資産合計	5,857	6,126

第2四半期連結損益計算書

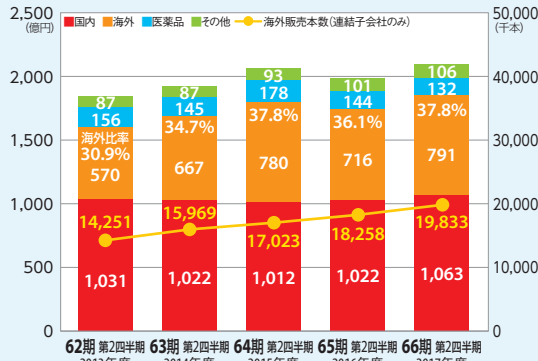
単位：億円

科目	第65期第2四半期累計 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	第66期第2四半期累計 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高	1,889	1,977
売上原価	824	839
売上総利益	1,065	1,137
販売費及び一般管理費	877	909
営業利益	187	228
営業外収益	55	63
受取利息	13	18
受取配当金	9	10
持分法による投資利益	19	24
その他	12	9
営業外費用	5	22
支払利息	3	3
為替差損	—	15
その他	1	3
経常利益	237	268
特別利益	2	0
固定資産売却益	2	0
その他	—	0
特別損失	3	0
投資有価証券評価損	2	—
その他	0	0
税金等調整前四半期純利益	236	268
法人税等	60	68
四半期純利益	175	199
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	149	178

第66期第2四半期のポイント

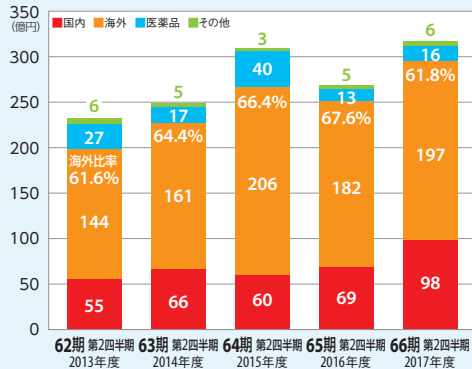
1. 全体は増収・増益
2. 国内飲料は乳製品の積極的なマーケティング投資による販売本数増および価格改定効果により増収・増益
3. 海外飲料はアジアを中心とした販売本数の増加等により増収・増益
4. 医薬品はエルプラットの売上本数の減少があったものの、経費の減少等により減収・増益

▶売上高推移（連結）



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

▶営業利益推移（連結）



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

科目	第65期第2四半期累計 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	第66期第2四半期累計 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	248	263
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 305	△ 146
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	26	△ 80
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 99	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 130	53
現金及び現金同等物の期首残高	1,017	951
現金及び現金同等物の四半期末残高	887	1,004

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益268億円、減価償却費等があったことにより、263億円(前年同期比14億円の収入増)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に定期預金の預入や生産設備の新設、増設および更新による固定資産の取得があったことにより△146億円(前年同期比159億円の支出減)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入れおよびリース債務の返済や配当金の支払い等により△80億円(前年同期比106億円の収入減)となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索

Special Feature

毎日のヤクルトで腸をすこやかに。

続ける理由が、ありすぎる。

発売以来、多くの皆さまに日々ご愛飲いただいている宅配専用商品「ヤクルト400」。幅広い世代のお客さまから支持されています。そこには毎日飲み続ける理由があります。

- ✓ 乳酸菌 シロタ株が400億個 ※1本80ml当たり
- ✓ 生きて腸にとどく
- ✓ 良い菌を増やす
- ✓ 悪い菌を減らす
- ✓ 腸内環境を改善する
- ✓ おなかの調子を整える
- ✓ 特定保健用食品



ヤクルト400

ヤクルト400LT

甘さひかえめ
カロリー-30%
カット*

※ヤクルト400に比べ

重要なのは腸をすこやかに保つこと。 毎日飲み続けることが大切です。

「ヤクルト400」は、生きたまま腸内に到達する乳酸菌シロタ株の働きで、良い菌を増やし、悪い菌を減らして、腸内の環境を改善し、おなかの調子を整えます。保健効果を表示することができる許可を消費者庁より受けている特定保健用食品(トクホ)で、保健効果が科学的に証明された商品です。毎日のヤクルトで、腸をすこやかに保ちましょう。



「ヤクルト400」の
お申込み・お問合せは

ヤクルトお客さま相談センター 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・夏季休業・年末年始は除く)

0120-11-8960 (携帯電話・PHSからはご利用になれません。)

シロタ株

検索



手洗いやうがいと同じように ヤクルトを大切に。

冬季の乳酸菌摂取の重要性をお伝えするため、「手洗いやうがいと同じようにヤクルトも大切です」というメッセージを大泉 洋さんが鼻歌に乗せて軽やかに表現したCMを放送しています。



NEW

「シンバイオティクス ヤクルト W」を新発売

乳酸菌 シロタ株とガラクトオリゴ糖で腸をすこやかに

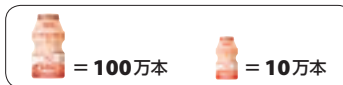
乳製品乳酸菌飲料「シンバイオティクス ヤクルト W」を全国のコンビニエンスストアやスーパーマーケット等の店頭で販売を開始しました。「シンバイオティクス ヤクルト W」は、生きて腸内に到達する乳酸菌 シロタ株(1本100ml当たり300億個含有)と腸内のビフィズス菌を増やすガラクトオリゴ糖と一緒に摂ることができます。また、日々の食生活で不足しがちな成分のビタミンCを配合しています。甘さひかえめのすっきりした風味で「脂肪分ゼロ」のパーソナルタイプの乳製品乳酸菌飲料です。

プロバイオ
ティクス乳酸菌
シロタ株
300億個プレバイオ
ティクスガラクト
オリゴ糖シンバイオ
ティクス

人の腸でよい働きをする乳酸菌やビフィズス菌などの微生物を「プロバイオティクス」、腸内の有用菌(ビフィズス菌など)の増殖を助けるものを「プレバイオティクス」と言います。「プロバイオティクス」と「プレバイオティクス」を組み合わせたものを「シンバイオティクス」と言います。

現在、日本を含む38の国と地域で、主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、世界中で毎日3,500万人を超える方々（平成30年3月期第2四半期 1日平均本数3,860万本）にご愛飲いただいています。

【世界の乳製品販売本数】



海外：2017年1月～6月の1日当たり平均本数
日本：2017年4月～9月の1日当たり平均本数

EUROPE

▶ 国と地域：12

▶ 1日当たりの販売本数：65万本

ヨーロッパ地域

- オランダ
- ベルギー
- フランス
- イギリス
- ドイツ
- ルクセンブルク
- スペイン
- アイルランド
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス

THE AMERICAS

▶ 国と地域：6

▶ 1日当たりの販売本数：597万本

米州地域

- ブラジル
- メキシコ
- ウルグアイ
- アメリカ
- カナダ
- ベリーズ

JAPAN

▶ 1日当たりの販売本数：965万本

ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

▶ 国と地域：19

▶ 1日当たりの販売本数：2,232万本



- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- 中国
- マレーシア
- ニュージーランド
- ベトナム
- インド
- アラブ首長国連邦
- オマーン
- バーレーン
- カタール
- クウェート

会社概要

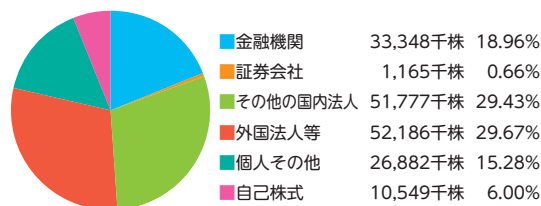
商号 株式会社ヤクルト本社
(Yakult Honsha Co., Ltd.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03 (3574) 8960 (大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,900人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者304人および嘱託125人を含んでいます。

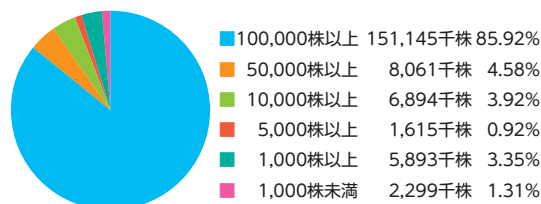
株式の状況

発行可能株式総数……………700,000,000株
発行済株式総数……………175,910,218株
株主数……………20,080名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員

代表取締役社長	根岸 孝成	取締役	林田 哲哉	常勤監査役	阿部 晃範
取締役	川端 美博	取締役	リチャードホール	常勤監査役	山上 博資
取締役	成田 裕	取締役	安田 隆二	監査役	奥平 哲彦
取締役	若林 宏	取締役	福岡 政行	監査役	谷川 清十郎
取締役	石川 文保	取締役	ベルランドオースイ	監査役	小林 節子
取締役	田中 正喜	取締役	フィリップケガルス	監査役	吉田 宏一
取締役	伊藤 正徳	取締役	前田 典人	監査役	手塚 仙夫
取締役	土井 明文				

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ダノン プロバイオティクス プライベート リミテッド	35,212	20.02
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.82
松尚株式会社	4,917	2.80
共進会	4,260	2.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,841	2.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,488	1.98
キリンビバレッジ株式会社	2,458	1.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,268	1.29
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会社です。
上表のほか、当社は自己株式10,549千株を保有しています。

総合科学雑誌「ネイチャー」との共同企画により、

「ネイチャーカフェ」を開催

nature
café
SPRINGER NATURE Yakult
This event is jointly held by Yakult and Springer Nature

2017年10月13日、総合科学雑誌「nature(ネイチャー)」との共同企画で、シュプリング・ネイチャー・セミナールーム(英国・ロンドン)において、学術会議「nature café(ネイチャーカフェ)」を開催しました。

今回の開催は、「健康と疾患における腸内細菌叢の役割」をテーマに、昨年11月の日本での開催に続き、2回目となりました。

世界的に著名な研究者の方々を迎え、講演とパネルディスカッションを行い、宿主と腸内細菌叢との相互作用に関する最新の知見を紹介しながら、今後の腸内細菌叢研究の方向性を探りました。

参加した大勢の聴講者からも積極的な質問や発言が出るなど、白熱した議論が交わされ、盛況のうちに終了しました。

あらためて、この分野の研究の可能性と当社グループの果たすべき使命を確認できた素晴らしいイベントとなりました。



「nature」は、1869年に英国で創刊され、世界で特に権威のある学術誌として評価されています*。

* 学術誌の認知度および科学的信頼性を評価する際によく利用されている指標「インパクトファクター」において、総合科学分野で第一位を獲得しています。インパクトファクターとは、学術雑誌を対象として、その雑誌の影響度・引用された頻度を測る指標で、クларリベイト・アナリティクス社が毎年発表しています。



ゼッコー腸! ヤクルトマン誕生



ヤクルト初! 公式キャラクター

おなかの味方、ヤクルトマン!

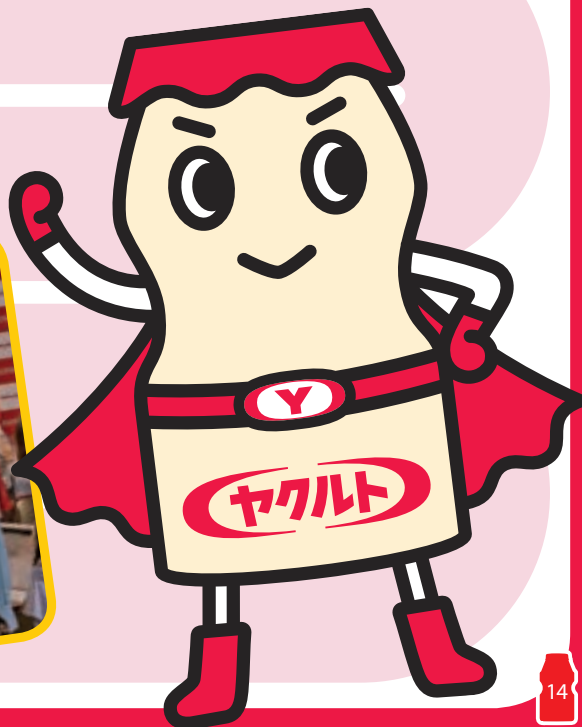
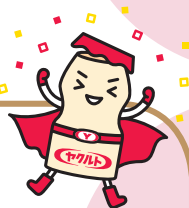
ヤクルト初の公式キャラクター「ヤクルトマン」は、商品「ヤクルト」を擬人化したキャラクターで、お客さまとヤクルトグループの絆を深めるために誕生しました。今後はイベントや資材など、さまざまな場面に登場して、おなかをすこやかに保つことがとても大切であることを広めていきます。ヤクルトマンの誕生により、子どもから大人まで幅広い層のお客さまにヤクルトブランドの魅力を発信していきます。



お披露目イベントで“ゼッコー腸”!

2017年8月27日、東京のヤクルトホールにて「ヤクルトマン」誕生イベントが開催されました。

イベント会場には、
たくさんの親子にご参加いただき、
会場は笑顔と拍手に包まれました。



ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、CSR活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

- 当社商品3品(「ジュース詰め合わせ」「乾めん詰め合わせ」「化粧品」)のうち好きな商品を1品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

- 当社商品3品(「ジュース詰め合わせ」「乾めん詰め合わせ」「化粧品」)のうち好きな商品を2品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は7月下旬の予定です。

**東京ヤクルトスワローズが神宮球場で開催する
プロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供**

※外野自由席の販売がない試合(全席指定試合)はご利用できません。

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 年間24ポイント付与。1ポイントにつき、入場券(外野自由席)1枚との引き換え、1試合につき4ポイントまで利用可。

毎年9月30日現在で100~999株所有の株主の皆さま

- 年間4ポイント付与。1ポイントにつき、入場券(外野自由席)1枚との引き換え、1試合につき4ポイントまで利用可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告掲載方法 電子公告 <http://www.yakult.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (NMF竹橋ビル6F)
(郵便物送付先) (連絡先)	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

株式に関するお手続きについて

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社に
お申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社に問い合わせください。

Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960(大代表)

<http://www.yakult.co.jp/>

